



本丸児童公園の蒸気機関車

教育の充実については、児童・生徒数の減少により、このままでは小・中学校、特に中学校において、適正な規模を維持することが困難になります。しかし、こうした危機的状況をチャンスに変え、質の高い教育を行い、適正な学校規模を維持するため、小・中学校を新たな義務教育学校に再編する「行田市義務教育学校設置に向けた再編計画（骨子編Ⅴ）」を策定します。

また、外国語指導員をすべての幼稚園に派遣し、年少（4歳児）からの生きた英語教育を推進することで、英語の好きな子どもの育成を目指す「英語のできる行田っ子」や、民間スイミングスクールを利用した天候や季節に左右されない水泳授業を実施します。

●雇用の創出・開発の促進  
若い世代が行田を選び、移り住むまちを目指します。

まず、若者の移住を促進するため、新たに本市に移住した若者を対象に奨学金返還支援金を交付します。勤務先は市外でも市内に居住していれば対象となります。

また、就職するために必要な資格取得費用や、従業員が業務に必要な資格を取得した場合に係る費用の一部を補助します。

企業誘致に当たって、新たな立地に適した候補地については、企業にとって時間と経費の負担が重い埋蔵文化財の調査を市が先行して実施することで、その有無をあらかじめ明らかにする企業誘致候補地先行試掘調査を実施します。

●交通インフラの整備  
企業誘致や開発を促進するうえで障壁となる交通インフラの整備を行います。

国道17号バイパスの高速道路化について、国への要望を粘り強く続けていくとともに、特に不満の声の多い地域公共交通について、A-1を活用して効率的な配車・運行を行う

乗合型の交通モビリティを導入します。

また、生活道路の補修や改修についても、通年で実施する規模を当初予算で措置することにより、早期の事業着手を可能とし、工事実施の平準化を図りながら、計画的に事業を進めることが可能となります。

◇安心、安全、快適な暮らしの実現

・防災・減災の取り組み  
いつ発生するか分からない自然災害の被害を最小限に抑えるために、日ごろからあらゆる災害を想定し、事前の対策を講じることが重要です。

水害対策については、引き続き国・県・市の三者で忍川浸水対策重点地域緊急事業を進めます。

・安心、安全の確保  
交差点などへの防犯カメラの設置のほか、住宅用防犯カメラ設置費の補助、振り込め詐欺等の対策機能を持つ固定電話機等の購入費用の一部に対する補助を実施します。

また、引き続き自治会が管理する防犯灯の設置・修繕費用及び電気料金を補助し、地

域の安心安全のための活動を支援します。

◇そのほか重要な事業

- ・総合体育館の空調設備整備
- ・ペット火葬棟の建設
- ・施設のトイレ洋式化
- ・LINEを活用した行政手続きのオンライン化

【主な質疑】

○防犯カメラ設置事業  
設置場所の選定基準や設置時期は。

【答】現時点では設置場所は選定されていない。今後、警察や関係各課との協議において、事件の逃走に使用することが想定されるルートや、交通事故が多発している地点等を踏まえて選定し、道路管理者と調整が整い次第、スピード感をもって取り組んでいく。

○水城公園東側園地再整備事業  
どのような遊具を設置するのか。

【答】水城公園東側園地内のあるあい広場に滑り台、ネット、ロープ及び登り棒などを組み合わせた、幅広い年齢で利用できる遊具を設置する予定である。

特別会計  
特別会計合計額は  
162億円余

○令和6年度の各種特別会計予算（全て原案可決）

国民健康保険事業費特別会計など4特別会計の令和6年度当初予算は合計で162億2480万8千円です。

また、公営企業会計当初予算は水道事業会計が35億7834万円、公共下水道事業会計が34億5095万8千円です。

●特別会計予算及び公営企業会計予算（単位：千円）

会計名		予算額	対前年増減額	増減率%
特別会計	国民健康保険	7,890,867	△364,906	△4.4
	交通災害共済	27,758	△9,794	△26.1
	介護保険	6,945,356	△67,864	△1.0
	後期高齢者医療	1,360,827	166,686	14.0
	合計	16,224,808	△275,878	△1.7
公営企業会計	水道	3,578,340	137,468	4.0
	公共下水道	3,450,958	159,924	4.9
	合計	7,029,298	297,392	4.4

例  
○行田市犯罪被害者等支援条例（原案可決）

法改正に伴う  
条例の改正等